

住みよさの指標と住民意識に関する研究 ー野々市市の事例を参考にー

Research on Indicators of Livability and Residents' Awareness
Focusing on the Case of Nonoichi

地域／論文

地域キュレーションコース

前川 由依

Maekawa Yui

◎はじめに

「住みよさ」は居住地を選択する上で重要な要素であり、その住みよい街の条件は、年齢、結婚歴、子どもの有無、家庭環境、時代などの様々な理由によって変化する。それらの個人によって異なる生活環境全般を指標で評価し、順位付けを行ったものが住みよさのランキングである。各社が発表している住みよさのランキングには、①客観的指標から調査されたもの②主観的指標から調査されたものの2つのパターンが存在する。本研究では、「住みよさはどのような指標によって決められているのか」、「客観的指標のみでは住民の住みよさを測ることは難しいのではないか」という観点から調査を進めた。

客観的指標は「住みよさランキング」(東洋経済新報社)を、主観的指標は「街の住みよさランキング」(大東建託)、「シティブランド・ランキング」(日経BP総研)を用いて比較を行った。また具体的な研究対象として、各社の調査で上位にランクインしている、石川県野々市市を取り上げ、「市民意識調査」(野々市市役所)、「満足コメント・不満コメント」(大東建託)、「野々市市役所の方へのヒアリング」、「野々市市民の方へのインタビュー」を主観的調査に加え、客観的指標と対比しながら分析を行った。

◎客観的・主観的指標の比較

客観的指標(住みよさランキング)と主観的指標(街の住みよさランキング、シティブランド・ランキング)の指標内容を比較すると、「安心・安全」「利便性」「行政の運営」「快適さ」「その他」の5つの共通部分に分類できた。各社が行っている調査では、これらの5つの項目が住みよさを調査する上で欠かせない要素であると明らかになった。

指標に共通性があることによって、ランキングの上位に同一の都市が見られた。3つのランキングの2021年度の上位10都市を比較すると、すべてのランキングに名を連ねる都市が1つ、2つのランキングに名を連ねる都市が5つあった。方法、期間、目的などが異なっているにもかかわらず、指標の項目は一定の共通性を持っており、それによって住みよい都市のランキングにも共通性が生まれるということが明らかになった。

◎客観的・主観的指標から見る石川県野々市市

調査対象の石川県野々市市の住みよさの結果を参考に、高く評価されている指標、低く評価されている指標について比較を行った。野々市市の主観的指標では、どの調査でも「利便性」が高く評価されていた。客観的指標でも、「小売販売額」と「大規模小売店舗面積」が評価されており、主観的指標の利便性の高さを裏付ける項目となっていた。低く評価された項目は、主観的指標では、「安全性」「自然環境」「交通」「地価の高さ」「文化資源」に分類することができた。「文化資源」以外の項目については客観的指標でも低い評価となっており、主観的指標との共通性が見られた。しかし、「文化資源」に関する指標は客観的指標にはなく、野々市市の住みよさを分析する上で、「文化資源」についての客観的指標が考慮されていないことが明らかになった。

また、客観的指標と住民インタビューを比較すると、客観的指標で低い評価を受けていた「安全性」と「自然環境」の項目が、住民インタビューでは現状に納得しているという結果になった。

これらから、客観的指標で測られる住みよさは、主観的に測られた住みよさの裏付けとして用いることもできるが、主観で測られたデータは人や環境などによって変化するものであり、住民の意見と異なる場合もあるため、客観的指標のみで住みよさを正しく評価することは難しいということが明らかになった。

住みよさランキングなどの客観的指標は、主観的指標の裏付けとして利用し、複数の主観的指標を分析した上で、その都市の住みよさについて説明することが、地域住民の住みよさの理解を高めることにつながっていく。

◎まとめ

本研究では、客観的指標のみでは住みよさを測るには不十分であり、様々な主観的指標を組み合わせ考えても、1つの住みよさを導き出すことは難しいということが明らかになった。今回は石川県野々市市を対象に、各社ランキングを主観的指標と、客観的指標に分けて考えてきたが、このような結論はすべての自治体に当てはまるものではなく、調査する都市や、比較するランキングによっても異なる結果になると考えられる。住みよさとは、住民の主観的な要素が含まれるものであるため、時代の流れに合わせて変化する我々の生活とともに、毎年比較し調査していく必要があるだろう。